

東京工業大学物質・情報卓越教育院
「未来社会サービス創出ワークショップ」ファシリテート等業務委託 一式
仕様書

1. 概要

本教育院(TAC-MI)の実施する「東京工業大学卓越大学院プログラム事業(「物質×情報=複素人材」育成を通じた持続可能社会の創造)」「(文部科学省補助事業)」について、本教育院の登録学生が、自身の研究を社会サービスに繋げて考え、社会に役立つ新しい産業を提案する俯瞰力を涵養することができるよう、未来社会サービス創出ワークショップを開催する。

2. 目的

下記3の参加者が数名のチームとなり、本学が指定する教育テーマに沿った課題に対し、理解を深め、解決策を練る。

3. 参加者

TAC-MIの博士後期課程1年生 24名、博士後期課程2年生 2名、海外学生 10名程度 計36名程度
(別途、オブザーバーとして本学教職員、TAC-MI会員企業等関係者が参加する)

4. 契約期間及び各業務の履行期限

本契約期間及び全体の履行期限	2023年1月13日(金)
○ 事前準備	受注後速やかに～2022年12月7日(水)
○ イベント運営業務(実施日)	2022年12月8日(木)～12月9日(金)
○ 事後業務及び業務完了報告書提出期限	2023年1月13日(金)

5. 実施方法・実施場所

対面開催。東京近郊の会場にて開催予定。

6. 仕様

以下の条件を満たし、ワークショップによるアイデアの創出に寄与すること。

(1) 全般的要件

- ・ 受注者は、コンペティション方式により業務を受注した場合には、企画書により提案された計画・内容及び履行体制により当該業務を履行すること。

(2) 事前準備

- ・ 本学の示すテーマ、概要等をもとに、TAC-MIの理念等を踏まえた教育効果の高いワークショップ(初日のオープニングから、最終日のクローズ)の設計を行うこと。
- ・ 特別講演の講演者の選定はTAC-MIと相談の上、TAC-MIで最終決定する。
- ※ 特別講演の講演者については、本学側で依頼する場合もある。その場合は、講演謝金は本学より支払いを行う。

(3) ワークショップ

- ・ 総括ファシリテーター1名、ファシリテーター1名、グラフィックレコーダー6名が対応する。
グラフィックレコーダー6名については別途、本学(発注者)側が手配し、連絡調整等を行う。
- ・ ワークショップ全体の司会進行、発表は原則、英語で行うこと。
- ・ グループワーク時は英語を主として、日本語も適宜使用しながら進める。
- ・ グループワーク時、各チームのディスカッションを促進するため、ファシリテートを行うこと。
- ・ 6グループに分かれ、グループワークを行う。各グループに1名のグラフィックレコーダーが付き、話し

合いの内容やアイデア構想をその場で分かりやすくイラストにまとめ、可視化する。グラフィックレコーダーはグループファシリテーターを兼ねる。

- ・ 特別講演の講演者は対面もしくはオンラインにて20分程度の講演を行い、10分程度質疑応答を行う。使用言語は英語。
- ・ 最終発表会はハイブリッド配信を行う。最終発表会には、TAC-MID2学生、プログラム担当者、会員企業関係者、海外アドバイザー教員等が、オンラインで参加する。ハイブリッド配信の機材操作およびミーティングの設定、オンライン参加者への連絡は本学(発注者)側が行う。

(4)グループワークの概要とタイムライン

ワークショップの概要とタイムラインは、原則として以下のとおりとする。

日にち	時間	内容
12/8	8:30-9:00	事前打ち合わせ(ファシリテーター・グラフィックレコーダー・教員)
	9:00-12:00	オープニング・趣旨説明
		・テーマの提示
		・チーム内自己紹介
		【特別講演】テーマに沿った講演を行う
	・2日間のミッション提示	
	・グループワーク	
12:00-13:00	昼休憩	
13:00-17:00	・グループワーク	
	・各チームの中間発表の後、ファシリテーター、オブザーバーからフィードバック	
	・翌日に向けてリサーチが必用な内容をピックアップ	
17:00-17:30	2日目に向けての打ち合わせ(ファシリテーター・グラフィックレコーダー・教員)	
12/9	8:30-9:00	事前打ち合わせ(ファシリテーター・グラフィックレコーダー・教員)
	9:00-12:00	・グループワーク
	12:00-13:00	昼休憩
	13:00-17:00	最終発表会(13:30-15:00)
		・各チームの成果を発表
※オンライン参加者(本学教職員、企業関係者、D2学生)との議論を推奨する		
	・個人ワーク	
	(並行して、参加者により投票を行い、賞を決定)	
	表彰式(授与式、審査員長などからの講評)	
	閉会式(教育院長からの閉会の言葉)	
17:00-17:30	事後打ち合わせ(ファシリテーター・グラフィックレコーダー・教員)	

※ タイムスケジュール及び概要については、事前準備の段階で、本学と協議の上、変更の可能性あり。

(5) 記録

- ・ イベント記録のため、本学(発注者)側で動画撮影、写真撮影を行う。ワークショップ中に撮影した動画・写真の著作権は本学(発注者)側が有する。本学(発注者)は、動画・写真を自己利用に必要な範囲で、複製・翻案できる。受注者は、著作者人格権を行使しないものとする。

(6) 実施後

- ・ 実施後に、本学(発注者)側にて参加者に向けて事後アンケートを行う。
- ・ 企画立案内容、実施内容を報告書としてとりまとめ、グループワーク終了後、報告書の提出期限までに、電子データにて本学に提出すること。
- ・ 実施後、1～2か月をめぐり、本学関係者と1時間程度の事後ミーティングをオンラインで行い、実施報告書をもとに報告を行う。

7. 納品物

以下について、電子媒体もしくは紙媒体で各1部ずつに納品する。

- ① ワークショップ中にグラフィックレコーディングした制作物
- ② 各チームのワークシートなど成果物
- ③ 業務完了報告書

8. その他

- (1) 本業務の実施においては、本学の課す守秘義務を厳守すること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は、本学担当者の指示によること。
- (3) 上記(2)の指示によりがたい場合は、発注者・受注者で双方協議のうえこれを決定する。
- (4) ワークショップで使用したワークシートやグラフィックレコーディングしたマテリアル類・制作物の著作権は本学(発注者)側が有する。本学(発注者)は、これらのマテリアル類・制作物を必要な範囲で、複製・翻案できる。受注者は、著作者人格権を行使しないものとする。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、オンラインに変更となる可能性がある。オンラインに変更になった場合は、本学担当者と協議のうえ、運営方法の見直しを行う。

以上